

令和2年度
事業報告書

社会福祉法人 大友恵愛会
特別養護老人ホーム 大友恵愛園

目 次

まえがき

特養事業報告

1. 入居者の状況	7
2. 医療状況	1 8
3. 機能訓練	2 0
4. 給食状況	2 2
5. 年間行事反省	2 4
6. 各種会議・委員会	2 6
7. 実習受け入れ状況	3 1
8. ホール貸出状況	3 1
9. 介護留学生奨学金制度	3 1

居宅事業報告

1. 介護予防センター	3 5
2. 居宅介護支援事業所	3 8
3. ショートステイ	3 9
4. デイサービス	4 1

令和 2 年度

特養事業報告

1. 入居者の状況 (令和3年3月31日現在)

定員 200名

在籍人員数 193名

内訳	入居者数	186名	(男性	36名	女性	150名)
	多床室	125名	(男性	24名	女性	101名)
	ユニット	61名	(男性	12名	女性	49名)
	入院者数	2名	(男性	0名	女性	2名)
	多床室	1名	(男性	0名	女性	1名)
	ユニット	1名	(男性	0名	女性	1名)
	契約入院者数	5名	(男性	3名	女性	2名)
	多床室	4名	(男性	3名	女性	1名)
	ユニット	1名	(男性	0名	女性	1名)

※ 「契約入院者」とは入院8日目以降の入院者を言う。

利用状況

多床室	令和2年度													
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
月初日入居者数	131	129	127	122	127	129	125	125	127	130	131	128	1531	
月平均入居者数	129.7	126.8	124.8	124.0	127.5	125.6	125.2	127.6	128.6	129.5	129.0	126.3	127.1	
入居	新規入居	3	2	3	4	6	4	5	5	3	4	1	6	46
	再入居	3	0	1	3	1	1	4	4	10	5	3	2	37
退居	5	4	4	4	2	4	4	4	4	3	4	6	6	50
月初	入院	0	0	0	2	0	1	3	2	2	3	1	0	14
	契約入院	4	4	4	5	2	3	5	7	6	2	3	2	47
入院者延人数	29	13	48	19	24	52	54	35	61	49	31	50	465	
契約入院者延人数	97	119	214	113	65	160	211	121	149	80	44	102	1475	
外泊延日数	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2	

ユニット	令和2年度													
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
月初日入居者数	59	58	57	59	59	60	62	62	63	63	63	64	729	
月平均入居者数	57.3	57.6	56.7	59.3	60.1	60.6	62.0	62.4	62.1	62.6	63.6	63.1	60.6	
入居	新規入居	2	1	1	3	1	2	2	1	1	0	1	0	15
	再入居	1	2	1	0	2	1	1	3	1	1	1	0	14
退居	2	4	0	2	1	1	0	2	1	1	0	1	15	
月初	入院	3	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	4	
	契約入院	0	4	2	2	2	2	2	3	1	1	0	19	
入院者延人数	42	6	9	8	18	52	12	63	13	6	1	8	238	
契約入院者延人数	53	96	151	47	44	160	62	63	34	35	0	5	750	
外泊延日数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

※新型コロナウイルスの感染があったため令和2年5月25日から6月7日まで新規入居者の受入れを休止とした。

各月初日現在要介護度別入居者数及び平均要介護度（年度平均要介護度 多床室 3.80 ユニット 3.44

全体 3.62)

	要介護1		要介護2		要介護3		要介護4		要介護5		計		平均要介護度	
	多床室	ユニット	多床室	ユニット	多床室	ユニット	多床室	ユニット	多床室	ユニット	多床室	ユニット	多床室	ユニット
4月	4	7	8	4	29	16	54	21	36	11	131	59	3.83	3.47
5月	4	7	8	4	29	15	55	21	33	11	129	58	3.80	3.44
6月	4	6	8	4	29	16	54	21	32	10	127	57	3.79	3.43
7月	5	6	8	4	29	19	51	19	29	11	122	59	3.74	3.42
8月	3	6	8	4	30	19	55	19	31	11	127	59	3.81	3.42
9月	3	6	7	4	34	20	53	20	32	11	129	60	3.80	3.40
10月	3	6	8	4	31	20	53	21	29	11	125	62	3.77	3.47
11月	4	6	8	4	32	20	53	21	28	12	125	62	3.83	3.46
12月	3	6	8	4	29	19	59	23	28	11	127	63	3.82	3.47
1月	4	6	8	4	30	20	60	22	28	11	130	63	3.79	3.45
2月	3	6	9	4	32	20	60	23	27	10	131	63	3.79	3.42
3月	3	6	8	4	31	21	60	23	26	10	128	64	3.79	3.43
平均	3.6	6.2	8	4	30.4	18.7	55.5	21.1	29.9	10.8	127.6	60.8	3.80	3.44

年齢構成

(平均年齢 男性 81歳 女性 88.3歳 全体 86.9歳)

多床室	60	65	70	75	80	85	90	95	100	計	最低年齢	最高年齢	平均年齢
	～64歳	～69歳	～74歳	～79歳	～84歳	～89歳	～94歳	～99歳	歳以上				
男	0	1	4	7	5	6	2	0	0	24	65	93	80.9
女	0	0	4	7	18	26	28	13	4	101	72	104	83.1
計	0	1	8	14	23	32	30	13	4	125	65	104	82.7

ユニット	60	65	70	75	80	85	90	95	100	計	最低年齢	最高年齢	平均年齢
	～64歳	～69歳	～74歳	～79歳	～84歳	～89歳	～94歳	～99歳	歳以上				
男	0	0	2	2	4	1	2	1	0	12	70	97	81.0
女	0	0	0	0	6	15	15	12	1	49	80	102	90.6
計	0	0	2	2	10	16	17	13	1	61	70	102	88.7

要介護度と認知症老人日常生活自立度

多床室	正常	ランク I	ランク II a	ランク II b	ランク III a	ランク III b	ランク IV	ランク M	合計
要介護 1	0	1	0	1	1	0	0	0	3
要介護 2	0	0	0	3	2	0	0	0	5
要介護 3	0	1	2	7	19	2	2	0	33
要介護 4	0	0	4	15	28	5	6	1	59
要介護 5	0	0	0	3	8	1	13	0	25
合計	0	2	6	29	58	8	21	1	125

ユニット	正常	ランク I	ランク II a	ランク II b	ランク III a	ランク III b	ランク IV	ランク M	合計
要介護 1	0	1	0	3	1	0	1	0	6
要介護 2	0	0	0	0	2	1	1	0	4
要介護 3	0	0	0	5	7	1	4	0	17
要介護 4	0	1	3	5	9	3	4	0	25
要介護 5	0	0	0	0	1	3	5	0	9
合計	0	2	3	13	20	8	15	0	61

認知症老人の日常生活自立度判定基準

ランク I	何らかの認知症を有するが、日常生活は家庭内及び社会的にはほぼ自立している。
ランク II	日常生活に支障をきたすような症状・行動や意思疎通の困難さが多少みられても、誰かが注意していれば自立できる。 a. 家庭外で上記の状態が見られる。 b. 家庭内でも上記の状態が見られる。
ランク III	日常生活に支障をきたすような症状・行動や意思疎通の困難さがみられ、介護を必要とする。 a. 日中を中心として上記の状態が見られる。 b. 夜間を中心として上記の状態が見られる。
ランク IV	日常生活に支障をきたすような症状・行動や意思疎通の困難さが頻繁に見られ、常に介護を必要とする。
ランク M	著しい精神症状や問題行動あるいは重篤な身体疾患が見られ、専門医療を必要とする。

要介護度と障害老人の日常生活自立度

多床室	自立	J1	J2	A1	A2	B1	B2	C1	C2	合計
要介護1	0	0	0	1	0	2	0	0	0	3
要介護2	0	0	0	0	2	2	1	0	0	5
要介護3	0	0	1	5	10	7	9	0	1	33
要介護4	0	0	1	0	5	12	29	7	5	59
要介護5	0	0	0	1	1	0	7	5	11	25
合計	0	0	2	7	18	23	46	12	17	125

ユニット	自立	J1	J2	A1	A2	B1	B2	C1	C2	合計
要介護1	0	1	1	1	2	1	0	0	0	6
要介護2	0	0	0	1	1	2	0	0	0	4
要介護3	0	0	1	2	4	5	4	0	1	17
要介護4	0	0	0	3	0	7	13	0	2	25
要介護5	0	0	1	0	0	0	3	0	5	9
合計	0	1	3	7	7	15	20	0	8	61

障害老人の日常生活自立度(寝たきり度)判定基準

生活自立	ランク J	何らかの障害等を有するが、日常生活はほぼ自立しており、独力で外出する。 1. 交通機関等を利用して外出する。 2. 隣近所へなら外出する。
準寝たきり	ランク A	屋内での生活は概ね自立しているが、介助なしには外出しない。 1. 介助により、外出し、日中はほとんどベッドから離れて生活する。 2. 外出の頻度が少なく、日中も寝たり起きたりの生活をしている。
寝たきり	ランク B	屋内での生活は何らかの介助を要し日中もベッドでの生活が主体であるが、座位を保つ。 1. 車椅子に移乗し、食事、排泄はベッドから離れて行う。 2. 介助により車椅子に移乗する。
	ランク C	一日中ベッド上で過ごし、排泄、食事、着替えにおいて介助を要する。 1. 自力で寝返りをうつ。 2. 自力では寝返りもうたない。

認知症に伴う周辺症状 認知症に伴う周辺症状

	幻視 幻聴	妄想	昼夜 逆転	暴言	暴力	介護 拒否	徘徊	不潔 行為	異食 行動	性的逸 脱行動	合計
2 F	2	8	3	3	2	5	3	3	2	0	31
3 F	0	0	0	2	0	0	1	0	0	0	3
4 F	0	0	0	4	3	4	1	4	0	1	17
5 F	2	1	0	2	1	1	2	2	1	0	12
6 F	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2
計	5	10	3	11	6	10	7	9	3	1	65

※要介護度判定時の「主治医意見書記入の手引き」にある基準に準拠。

※同一者で複数の症状がある利用者もいるため、実人数との差が生じる。

年々、何らかの周辺症状の現れている利用者が増加傾向にあり、また、近年は、認知症による症状だけではなく精神疾患の既往歴があり加齢や認知症によってその症状が現れてくる利用者の増加が目立ってきている。

在園期間

全体平均 2.5 年

多 床 室	1 年 未 満	1 ～ 3 年	3 ～ 5 年	5 ～ 10 年	10 ～ 15 年	15 ～ 20 年	20 年 以 上	合 計	平 均 (年)
男	11	8	0	3	2	0	0	24	2.3
女	29	35	12	17	4	3	1	101	2.1
計	40	43	12	20	6	3	1	125	2.1

ユ ニ ット	1 年 未 満	1 ～ 3 年	3 ～ 5 年	5 ～ 10 年	10 ～ 15 年	15 ～ 20 年	20 年 以 上	合 計	平 均 (年)
男	3	3	2	3	1	0	0	12	3.0
女	12	15	5	17	0	0	0	49	3.4
計	15	18	7	20	1	0	0	61	3.4

利用者ADL状況

	身体状況	男			女			計					
		男	女	計	男	女	計	男	女	計			
食事	全介助	6	36	42									
	一部介助	5	21	26									
	見守り	8	33	41									
	自立	17	60	77									
移動	自立歩行	7	13	20									
	車椅子(自立)	4	17	21									
	車椅子(移乗介助)	11	37	48									
	車椅子(全介助)	14	66	80									
	杖	0	5	5									
	歩行器	0	12	12									
入浴	歩行浴	9	37	46									
	機械浴	22	80	102									
	特浴	5	33	38									
口腔清潔	全介助	9	42	51									
	一部介助	9	38	47									
	見守り(指示)	8	31	39									
	自立	10	39	49									
更衣	全介助	12	58	70									
	一部介助	20	58	78									
	見守り(指示)	3	16	19									
	自立	1	18	19									

2 F			3 F			4 F			5 F			6 F		
男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
4	10	14	1	9	10	1	6	7	0	3	3	0	8	8
1	4	5	0	2	2	2	9	11	0	3	3	2	3	5
3	12	15	1	3	4	4	15	19	0	0	0	0	3	3
1	8	9	6	21	27	0	2	2	7	19	26	3	10	13
1	4	5	0	3	3	1	1	2	2	4	6	3	1	4
0	3	3	1	4	5	1	4	5	2	4	6	0	2	2
3	8	11	5	16	21	2	8	10	0	3	3	1	2	3
5	16	21	2	10	12	3	18	21	3	8	11	1	14	15
0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	3	3	0	1	1
0	2	2	0	2	2	0	1	1	0	3	3	0	4	4
1	7	8	0	9	9	1	4	5	4	11	15	3	6	9
6	21	27	7	17	24	4	20	24	3	12	15	2	10	12
2	6	8	1	9	10	2	8	10	0	2	2	0	8	8
5	11	16	1	8	9	3	13	16	0	1	1	0	9	9
2	10	12	0	3	3	2	12	14	3	9	12	2	4	6
2	7	9	1	6	7	0	5	5	3	8	11	2	5	7
0	6	6	6	18	24	2	2	4	1	7	8	1	6	7
6	14	20	0	7	7	4	17	21	2	5	7	0	15	15
2	12	14	7	19	26	2	12	14	5	11	16	4	4	8
1	4	5	1	2	3	1	2	3	0	6	6	0	2	2
0	4	4	0	7	7	0	1	1	0	3	3	1	3	4

排泄状況

(多床室)

		日 中					計
		おむつ	尿 器	ポータブル トイレ	トイレ (誘導)	トイレ (自立)	
夜 間	おむつ	48	0	0	23	0	71
	尿器	0	0	0	1	0	1
	ポータブルトイレ	0	0	0	4	4	8
	トイレ(誘導)	0	0	0	29	2	31
	トイレ(自立)	0	0	0	0	14	14
計		48	0	0	57	20	125

その他 カテーテル使用者 4名 ストマー使用者 0名

(ユニット)

		日 中					計
		おむつ	尿 器	ポータブル トイレ	トイレ (誘導)	トイレ (自立)	
夜 間	おむつ	12	0	0	9	1	22
	尿器	0	0	0	0	0	0
	ポータブルトイレ	0	0	0	1	0	1
	トイレ(誘導)	1	0	0	18	2	21
	トイレ(自立)	0	0	0	0	17	17
計		13	0	0	28	20	61

その他 カテーテル使用者 0名 ストマー使用者 0名

新規入居の状況

1) 各月入居状況

多床室		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
男	新規	2	0	0	3	2	2	1	3	1	0	1	2	17
	再入居	2	0	0	1	0	1	1	1	3	0	1	0	10
	計	4	0	0	4	2	3	2	4	4	0	2	2	27
女	新規	1	2	3	1	4	2	4	2	2	4	0	4	29
	再入居	1	0	1	2	1	0	3	3	7	5	2	2	27
	計	2	2	4	3	5	2	7	5	9	9	2	6	56
計	新規	3	2	3	4	6	4	5	5	3	4	1	6	46
	再入居	3	0	1	3	1	1	4	4	10	5	3	2	37
	計	6	2	4	7	7	5	9	9	13	9	4	8	83

ユニット		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
男	新規	0	0	0	1	1	0	1	0	1	0	0	0	4
	再入居	0	0	0	0	0	1	1	1	1	0	0	0	4
	計	0	0	0	1	1	1	2	1	2	0	0	0	8
女	新規	2	1	1	2	0	2	1	1	0	0	1	0	11
	再入居	1	2	1	0	2	0	0	2	0	1	1	0	10
	計	3	3	2	2	2	2	1	3	0	1	2	0	21
計	新規	2	1	1	3	1	2	2	1	1	0	1	0	15
	再入居	1	2	1	0	2	1	1	3	1	1	1	0	14
	計	3	3	2	3	3	3	3	4	2	1	2	0	29

2) 年齢構成(新規入居者)

多床室	60歳未満	60歳～64歳	65歳～69歳	70歳～74歳	75歳～79歳	80歳～89歳	90歳～99歳	100歳以上	計	平均
男	0	0	1	3	3	9	1	0	17	80.7
女	0	0	0	2	2	14	10	1	29	86.3
計	0	0	1	5	5	23	11	1	46	84.2

ユニット	60歳未満	60歳～64歳	65歳～69歳	70歳～74歳	75歳～79歳	80歳～89歳	90歳～99歳	100歳以上	計	平均
男	0	0	0	0	1	1	2	0	4	87.5
女	0	0	0	0	2	7	2	0	11	88
計	0	0	0	0	3	8	4	0	15	87.8

3) 入居前の居所

		多床室				ユニット				合計
		男	女	小計	計	男	女	小計	計	
病院	新規	9	12	21	58	3	2	5	19	77
	再入居	10	27	37		4	10	14		
老人保健施設	新規	0	9	9	9	0	1	1	1	10
	再入居	0	0	0		0	0	0		
自宅	新規	5	4	9	9	1	4	5	5	14
	再入居	0	0	0		0	0	0		
他施設	新規	3	4	7	7	0	4	4	4	11
	再入居	0	0	0		0	0	0		
合計	新規	17	29	46	83	4	11	15	29	112
	再入居	10	27	37		4	10	14		

※入退院日を含めて8日間を超える入院後の再入居は、退院ではなく「再入居」として計算している。

退居者の状況

1) 各月退居状況

多床室	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
男	1	2	3	2	2	1	2	1	0	0	3	3	20
女	4	2	1	2	0	3	2	3	3	4	3	3	30
計	5	4	4	4	2	4	4	4	3	4	6	6	50

ユニット	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
男	2	1	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	5
女	0	3	0	2	1	1	0	2	0	0	0	1	10
計	2	4	0	2	1	1	0	2	1	1	0	1	15

2) 退居時の年齢構成

多床室	60歳未満	60歳～64歳	65歳～69歳	70歳～74歳	75歳～79歳	80歳～89歳	90歳～99歳	100歳以上	計	最低年齢	最高年齢	平均年齢
男	0	0	0	3	2	11	4	0	20	71	97	84.8
女	0	0	0	1	2	15	10	2	30	72	106	88.6
計	0	0	0	4	4	26	14	2	50	71	106	87.1

ユニット	60歳未満	60歳～64歳	65歳～69歳	70歳～74歳	75歳～79歳	80歳～89歳	90歳～99歳	100歳以上	計	最低年齢	最高年齢	平均年齢
男	0	0	0	0	0	1	4	0	5	84	95	92.0
女	0	0	0	0	2	4	4	0	10	78	95	86.0
計	0	0	0	0	2	5	8	0	15	78	95	88.0

3) 退居理由

	多床室			ユニット			合計
	男	女	計	男	女	計	
長期入院	9	19	28	2	7	9	37
死亡	10	11	21	2	3	5	26
希望退居	0	0	0	0	0	0	0
他施設へ	1	0	1	1	0	1	2
在宅復帰	0	0	0	0	0	0	0
計	20	30	50	5	10	15	65

4) 退居時疾病状況（在宅復帰者を除く）

多床室	死亡							長期入院						合計
	心不全	肺炎	脳出血	呼吸不全	悪性腫瘍	その他	小計	骨折	経管栄養 胃瘻造設	肺炎	悪性腫瘍	その他	小計	
男	0	5	0	0	1	0	6	0	13	0	0	0	13	19
女	1	7	0	0	0	0	8	0	17	5	0	0	22	30
計	1	12	0	0	1	0	14	0	30	5	0	0	35	49

ユニット	死亡							長期入院						合計
	心不全	肺炎	脳出血	呼吸不全	悪性腫瘍	その他	小計	骨折	経管栄養 胃瘻造設	肺炎	悪性腫瘍	その他	小計	
男	0	1	0	0	0	0	1	0	2	1	0	0	3	4
女	0	2	0	0	0	0	2	0	7	1	0	0	8	10
計	0	3	0	0	0	0	3	0	9	2	0	0	11	14

利用料負担状況（月額 30日）

（令和3年3月31日現在）

居室種別	要介護度	利用者負担段階	介護サービス費 (2割負担)	食費	居住費	社福減免	人数
多床室	要介護1	1	0	0	0		1
		2	15,000	11,700	11,100	有	0
						無	0
		3	21,644	19,500	11,100	有	1
	無					1	
	4	21,644	41,760	25,650		0	
	要介護2	1	0	0	0		1
		2	15,000	11,700	11,100	有	1
						無	1
		3	23,940	19,500	11,100	有	0
	無					2	
	4	23,940	41,760	25,650		0	
	要介護3	1	0	0	0		3
		2	15,000	11,700	11,100	有	1
						無	9 【1】
		3	24,600	19,500	11,100	有	4
	無					9	
	4	26,303	41,760	25,650		10	
	要介護4	1	0	0	0		2
		境界層	15,000	9,000	0	無	2
		2	15,000	11,700	11,100	有	9
						無	3
		3	24,600	19,500	11,100	有	15
	無					12	
	4	28,599	41,760	25,650		11	
	要介護5	1	0	0	0		5
		2	15,000	11,700	11,100	有	1
						無	3
3		24,600	19,500	11,100	有	5	
					無	9	
4	30,862 (44,400)	41,760	25,650		3		
					(1)		
計							125

利用料負担状況（月額 30日）

（令和3年3月31日現在）

居室種別	要介護度	利用者負担段階	介護サービス費 (2割負担)	食費	居住費	社福減免	人数	
ユニット	要介護1	1						
		2	15,000	11,700	24,600	有 無	0 0	
		3	24,600	19,500	39,300	有 無	1 5	
		4	24,818	41,760	60,180		0	
	要介護2	1						
		2	15,000	11,700	24,600	有 無	1 0	
		3	24,600	19,500	39,300	有 無	1 1	
		4	27,080	41,760	60,180		0	
	要介護3	1						
		2	15,000	11,700	24,600	有 無	3 2	
		3	24,600	19,500	39,300	有 無	3 9	
		4	29,545	41,760	60,180		1	
			(44,400)				(1)	
			《44,400》				《1》	
	要介護4	1						
		2	15,000	11,700	24,600	有 無	1 2	
		3	24,600	19,500	39,300	有 無	5 13	
		4	31,841	41,760	60,180		2	
			(44,400)				《1》	
	要介護5	1						
		2	15,000	11,700	24,600	有 無	1 0	
		3	24,600	19,500	39,300	有 無	2 4	
		4	34,103	41,760	60,180		1	
	計							61

※介護サービス費の金額は高額介護サービスは適用されているものとし、上限額は負担段階に応じて15,000円、24,600円、44,400円となっている。（3割負担者は高額介護サービス適用無し）
 ※社会福祉法人減額対象者で負担段階が第2段階の方は、「食費」「居住費」が25%減額、第3段階の方は「食費」「居住費」「介護サービス費」が25%減額される。
 ※介護サービス費の中には、栄養ケアマネ加算、個別機能訓練加算、看護体制加算Ⅰ・Ⅱ、日常生活支援体制加算Ⅰ・Ⅱ、夜勤職員配置加算Ⅰ・Ⅱが含まれている。
 ※（ ）は2割負担者 ※《 》は3割負担者 ※【 】は旧措置者内訳

2. 医療状況

月別投薬・通院及び入院状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
通院人数	61	32	42	93	91	82	100	88	80	80	70	97	916
園内投薬	789	817	834	836	878	804	936	877	831	754	858	945	10159
他科投薬	74	54	52	77	67	61	75	73	64	72	58	72	799
入院人数	10	4	9	5	7	12	9	9	11	9	7	12	104
退園人数	7	8	4	6	3	5	4	6	4	5	6	7	65

入院者理由内訳

	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		計
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
内科的	1	7	2	1	4	2		4	1	4	4	2	2	3	2	5	3	6	2	3	2	3	4	5	72
外科的		1												1											2
脳外科的		1			1				1								1		2	2					8
精神科的				1									1				1								3
骨折					1				1								1							1	4
泌尿器科					1						1								1		1			1	5
その他							1						1	1				2							5
計	10		4		9		5		7		7		9		7		13		9		8		11		99

通院状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
内科	12	9	9	26	17	19	26	21	13	17	10	32	211
外科	1		5	6	8	2	3	2	2	7	8	2	46
脳神経外科	10	4	4	12	4	7	11	5	8	8	5	8	86
整形外科	5	5	6	11	11	13	12	15	17	17	13	11	136
泌尿器科	15	9	8	16	6	6	10	9	8	14	8	11	120
精神・神経科	7	4	6	6	14	14	13	14	9	6	5	10	108
皮膚科	10	2	4	9	12	8	11	11	12	7	9	11	106
耳鼻科	3	1				1	2		1			1	9
眼科	3	2	2	4	5	6	3	7	5	1	3	3	44
歯科	19	8	6	32	30	51	52	40	27	37	26	52	380
循環器科	4	3	5	13	4	6	11	5	8	8	5	7	79
胸部X線検査										191			191
予防注射(利)								138	4				142

※歯科は往診も含まれている。

疾患罹患状況

	計
循環器	459
脳血管	274
呼吸器	43
整形外科	163
眼科	38
皮膚科	337
消化器科	162
耳鼻科	8
腎・泌尿器科	45
その他	507
延人員	2048
実人員	193

診察室検査状況(特養)

	採血	血糖	E C G	点滴
4月	41	10	32	4
5月	37	10	47	4
6月	47	11	49	2
7月	28	12	31	1
8月	38	10	48	3
9月	42	10	46	3
10月	28	10	31	0
11月	45	12	51	1
12月	38	12	51	0
1月	28	12	31	5
2月	46	11	51	9
3月	49	10	54	0
計	467	130	522	32

各疾患別内訳

①循環器疾患

	人数
高血圧症	145
狭心症	32
閉塞性動脈硬化症	5
うっ血性心疾患	49
その他	228

②脳血管疾患、認知症他疾患

	人数
脳血管障害	
症候性てんかん	14
アルツハイマー型認知症	70
レビー小体型認知症	
老年期認知症	4
統合失調症	
うつ病	14
その他	

③呼吸器疾患

	人数
急性上気道炎	2
慢性気管支炎	24
気管支喘息	11
その他	6

④整形外科疾患

	人数
腰痛症	54
骨粗鬆症	37
変形性関節症	24
その他	48

⑤眼科疾患

	人数
白内障	15
慢性結膜炎	2
その他	38

⑥皮膚科疾患

	人数
湿疹	70
白癬症	64
その他	227

⑦消化器科疾患

	人数
胃・十二指腸潰瘍	66
慢性胃腸炎	
逆流性食道炎	47
その他	49

⑧耳鼻科疾患

	人数
アレルギー性鼻炎	3
その他	5

⑨腎・泌尿器科疾患

	人数
前立腺肥大症	7
神経因性膀胱	14
その他	24

⑩その他

	人数
糖尿病	18
不眠症	61
パーキンソン病	8
便秘症	137
その他	283

利用者の重症化による体力の低下や嚥下機能の低下のため、経口摂取が困難となり入院するケースが多くなっている。食事がスムーズに摂取できるように、各部門との連携で食事形態や自助具等を工夫していった。

嘱託医による診察、早期に通院することにより、病状の悪化を最小限にとどめるようにしてきたが、入院後、再入所される割合が少なくなってきた。認知症状や精神疾患の方も多く、必要に応じて嘱託医との面談を通し、利用者の現状等を説明して、ご家族の理解を得るように努めてきた。

新型コロナウイルスに対しては、感染予防に努めてきた。利用者の通院については、相談員、家族と確認しながら通院をしていた。通院等で感染はされていない。今後も利用者が安心して生活できるよう、他部門との連携を図っていききたいと思う。

3. 機能訓練

レクリエーションリハビリ実施回数及び参加人数

	多床		2F			3F			4F			ユニット			総計	平均参加延人数
	ユニット		男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計		
4月	10回	参加実人数	6	22	28	5	32	37	5	25	30	8	31	39	134	24
	4回	参加延人数	14	69	83	9	86	95	7	55	62	15	48	63	303	16
5月	5回	参加実人数	3	21	24	4	26	30	6	23	29	8	25	33	116	27
	2回	参加延人数	4	27	31	6	38	44	6	52	58	10	35	45	178	23
6月	5回	参加実人数	6	20	26	4	23	27	3	21	24	4	19	23	100	19
	4回	参加延人数	7	21	28	4	26	30	3	36	39	7	29	36	133	9
7月	11回	参加実人数	7	21	28	5	30	35	1	22	23	8	46	54	140	19
	3回	参加延人数	15	46	61	14	93	107	1	36	37	13	69	82	287	27
8月	10回	参加実人数	8	25	33	7	23	30	4	26	30	12	45	57	150	20
	3回	参加延人数	13	62	75	10	44	54	5	63	68	19	75	94	291	31
9月	5回	参加実人数	7	25	32	3	24	27	3	17	20	3	17	20	99	26
	4回	参加延人数	10	39	49	4	40	44	4	31	35	3	27	30	158	8
10月	9回	参加実人数	7	21	28	7	29	36	3	22	25	6	30	36	125	18
	5回	参加延人数	13	39	52	10	45	55	6	49	55	11	47	58	220	12
11月	10回	参加実人数	4	21	25	6	18	24	3	19	22	4	18	22	93	15
	5回	参加延人数	8	49	57	13	40	53	5	39	44	5	35	40	194	8
12月	8回	参加実人数	8	26	34	5	29	34	3	23	26	12	45	57	151	28
	6回	参加延人数	15	61	76	12	71	83	8	53	61	22	108	130	350	22
1月	7回	参加実人数	6	20	26	5	21	26	3	20	23	4	20	24	99	16
	3回	参加延人数	9	30	39	8	30	38	5	33	38	7	29	36	151	12
2月	7回	参加実人数	7	25	32	6	26	32	8	22	30	6	26	32	126	33
	2回	参加延人数	8	74	82	13	65	78	13	55	68	6	26	32	260	16
3月	9回	参加実人数	4	25	29	6	28	34	5	23	28	10	45	55	146	24
	5回	参加延人数	8	47	55	16	77	93	9	60	69	14	79	93	310	19
合計	96回	参加実人数	73	272	345	63	309	372	47	263	310	85	367	452	1479	22
	46回	参加延人数	124	564	688	119	655	774	72	562	634	132	607	739	2835	16

個別機能訓練実施回数及び人数

		2F						3F					
		男		女		計		男		女		計	
		人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数
歩行訓練	手すり	0	0	0	0	0	0	3	76	1	1	4	77
	杖	0	0	1	36	1	36	0	0	0	0	0	0
	歩行器	0	0	0	0	0	0	2	57	1	85	3	142
	手引き	0	0	0	0	0	0	2	4	1	89	3	93
起立訓練		2	9	2	28	4	37	3	116	2	175	5	291
ROM訓練		5	176	8	353	13	529	8	244	9	302	17	546
マッサージ		5	199	8	340	13	539	6	173	9	300	15	473
その他		3	37	5	102	8	139	5	55	3	103	8	158
総人数及び総回数		15	421	24	859	39	1280	29	725	26	1055	55	1780

		4F						ユニット						合計	
		男		女		計		男		女		計		総人数	総回数
		人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数		
歩行訓練	手すり	1	2	2	13	3	15	1	50	5	75	6	125	13	217
	杖	0	0	0	0	0	0	2	38	7	169	9	207	10	243
	歩行器	0	0	1	58	1	58	0	0	3	45	3	45	7	245
	手引き	1	20	2	9	3	29	0	0	5	94	5	94	11	216
起立訓練		1	16	10	184	11	200	4	53	8	188	12	241	32	769
ROM訓練		5	162	9	355	14	517	6	149	13	472	19	621	63	2213
マッサージ		5	112	9	275	14	387	6	170	13	545	19	715	61	2114
その他		0	0	8	129	8	129	6	92	12	241	18	333	42	759
総人数及び総回数		13	312	41	1023	54	1335	25	552	66	1829	91	2381	239	6776

レクリエーションリハビリに関しては、前年度の反省をもとに各フロアで行うカラオケや映画会や季節に応じたイベントなど身体レベルに関係なく参加できるものを中心に行う予定であったが昨年2月から感染症蔓延防止のため、カラオケと体を激しく動かすレクリエーションは実施できなかった。年々、身体レベルの差が少しずつではあるが出てきており創作系のレクリエーションで工程を簡略化したものでも出来ない方が増えてきていることから身体レベルに関係なく参加できるレクリエーションを中心としつつ、簡単な工程でできる創作系レクリエーションも行っていきたい。

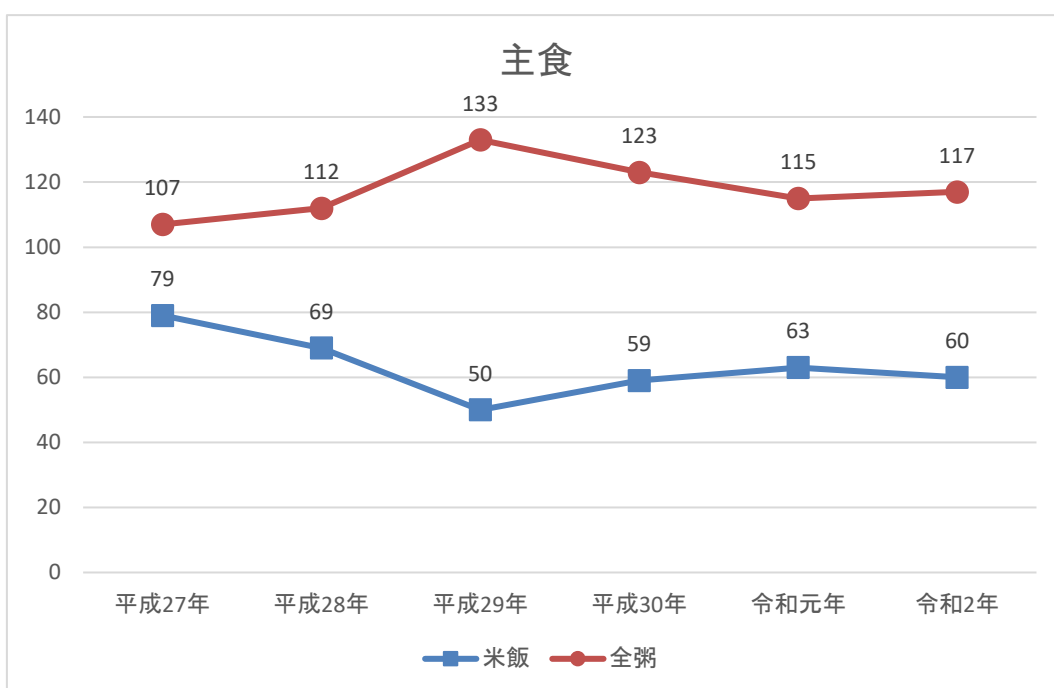
個別機能訓練総回数においては前年度に比べて、対象者の変動はありつつも安定した頻度で行うことができた。内容についてはマッサージや関節可動域訓練が中心となっているが、前年度よりも対象者に合わせた多種多様な内容を柔軟に実施した。頻度等も見直し、なるべく多くの希望者に対応するとともに、継続して行っている方の訓練内容も再検討を行い今現在の身体レベルに合わせた訓練を実施できるようにした。来年度以降も各セクションと連携をとりつつレクリエーションリハビリ・個別機能訓練の充実を図り、可能な限り意向を汲み取っていききたい。

4.給食状況

食事区分(特養)の推移

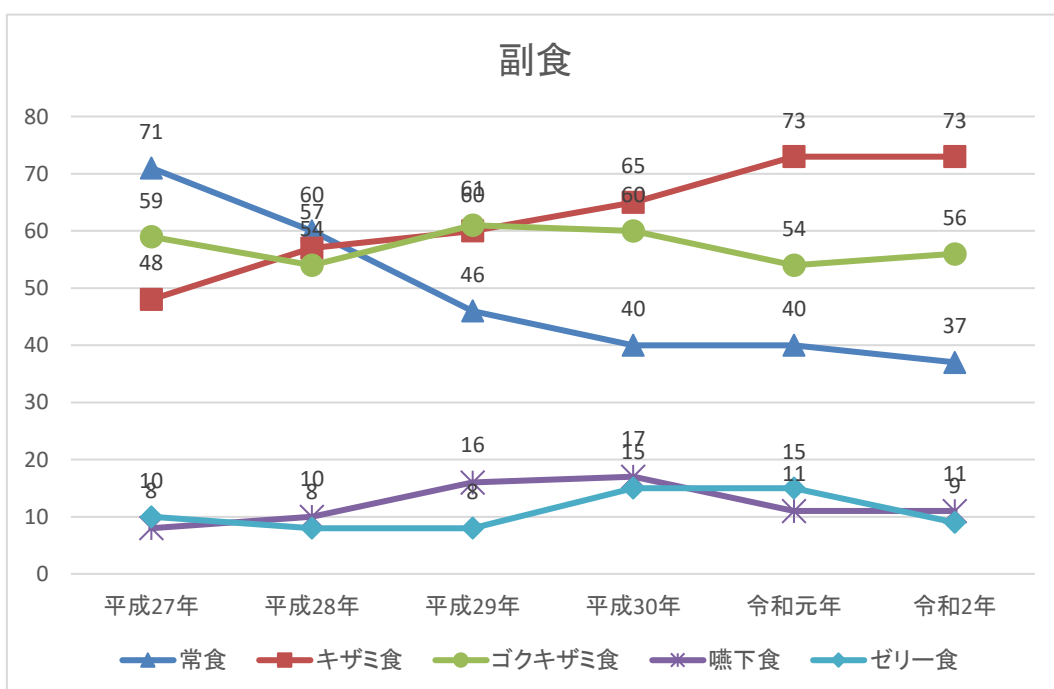
< 主食 >

(令和3年3月31日現在)
(人数) ※ 但し、入院者は除く



< 副食 >

(令和3年3月31日現在)
(人数) ※ 但し、入院者は除く



< 代替食 >

(人数)

	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年
麺類	61	75	71	86	76	72
パン	48	64	57	70	71	73
肉	13	13	12	10	13	13
納豆	23	23	17	27	21	20
刺身	2	2	3	3	1	0
サバ	4	4	2	2	2	3
カレーライス	3	2	1	2	2	1

行事食実施内容

		行 事	献 立
5月1日	金	子供の日	ちらし寿司・花笠・和え物・ジュース・和菓子
5月2日	土	子供の日	こどもの日デザート
6月15日	月	北海道神宮祭	赤飯・花笠・酢の物・フルーツ・ジュース
6月30日	火	開園記念	ゆかりご飯・炊き合わせ・刺身・茶碗蒸し・ゼリー
9月18日	金	敬老の日	赤飯・天ぷら盛り合わせ・茶わん蒸し・フルーツ・和菓子
9月25日	金	彼岸	おはぎ
10月30日	金	ハロウィン	ハロウィンデザート
12月21日	月	冬至	冬至南瓜・冬至柚子ゼリー
12月25日	金	クリスマス	サフランライス・ビーフシチュー・マリネ・ジュース・クリスマスケーキ
12月31日	木	大晦日(昼食)	えび天そば・煮物・フルーツ
1月1日	金	元旦(昼食)	ちらし寿司・紅鮭焼き・和え物・黒豆・フルーツ・和菓子
1月2日	土	(昼食)	かやく御飯・のし鶏・サラダ・きんとん・新春デザート
1月7日	木	七草	七草粥・味噌汁・豚肉生姜焼き・煮物・ゼリー
2月2日	火	節分	節分ポーロ
2月14日	日	バレンタイン	バレンタインデザート
3月3日	水	ひなまつり	赤飯・かき揚げ・菜の花和え物・ひなまつりデザート
3月19日	金	彼岸	おはぎ

5. 年間行事反省

月・日・曜	行事名	内 容 (反 省)
奇数月 第1水曜	利用者懇談会	定期的に開催し利用者の方の声や気持ちを聞く機会を設けているが、発言する方や参加する方が限られてきている。利用者の方の普段感じている生の声を聞くことができる為、今後もより多くの声が聞けるよう工夫し利用者の方の生活向上につなげていきたい。
隔週日曜 (13:30～ 16:00)	日曜喫茶	新型コロナウイルス感染予防のため、実施していません。
年6回	大相撲星取大会	参加者に毎日の取り組みの勝敗を予想していただき、成績優秀者を場所ごとに表彰することで楽しんでいただいている。参加者が減っており、次年度以降開催方式の変更を検討している。
毎月末水曜	誕生会	新型コロナウイルス感染予防のため、家族の参加は呼びかけず、またフロア単位で入居者の誕生日を祝った。

<離床促進デイ>

月・日	参加人数	内 容
4/15	109	いも餅を味わう
5/20	102	バケツプリンを味わう
7/29	54	打ち立てのお蕎麦を食する
8/5	21	〃
8/19	52	〃
10/21	41	ハロウィンパーティ
10/26	48	〃
12/24	90	クリスマス会
2/24	69	フルーチェを味わう
3/3	130	ひなまつり

<ユニット行事他> ひだまり 1～4丁目 (5階) ぬくもり 1～4丁目 (6階)

月/日	ユニット	内容
5/3	ぬくもり 3丁目	甘酒を味わう
5/11	ぬくもり 3丁目	お別れ会
6/18	ぬくもり 4丁目	お菓子作り (かき氷)
8/12	ひだまり 3丁目	夏を乗り切るごはん
9/22	ぬくもり 4丁目	秋の味覚を味わう
10/6.7	ぬくもり 4丁目	秋の味覚を祭り
12/2	ひだまり 4丁目	おでんを味わる
12/24	ぬくもり 4丁目	クリスマス・忘年会
12/31	ひだまり 2丁目	大晦日の雰囲気味わう
1/1	ひだまり 1.2丁目	お正月の雰囲気味わう
1/2	ぬくもり 3丁目	甘酒を味わう
1/6	ひだまり 1.2丁目	卓上ボーリング・風船バレー
1/7	ひだまり 1.2丁目	甘酒を飲んで元気に過ごす
1/22	ひだまり 1丁目	おしるこを味わう
1/23	ひだまり 3丁目	具沢山お味噌汁を味わう
1/23	ひだまり 4丁目	節分

各ユニットで誕生会を実施 (全 41 回)

誕生会の開催は例年通り開催出来ているが、各ユニットでの行事開催は入居者の ADL の低下で行う行事にも制限が出てきている事や職員の欠員等もあり減少している。

コロナ禍の状況で園全体での行事も減少している中、入居者の状況・希望に沿った行事を今後も開催していく。

6. 各種会議・委員会

1) 職員会議

前年度からの新型コロナウイルス蔓延による感染対策のため、多職種が一度に多く集まる会議等を自粛せざるを得なかった。次年度は開催方法を見直し、情報共有の場として開催できるようにする。

2) 運営会議

月1回第1金曜日(15:30～)に実施した。中・長期計画を指標とし、喫緊の課題となっている人材確保や収支改善について検討を行った。収支改善については各事業の利用率向上が前提条件として、支出の見直しも含め、各管理職がより課題意識をもって活発な意見交換を行い具体的な実践に向けて取り組んでいきたい。

<施設部会>

中長期計画をもとに現行の進捗状況および今後の課題について検証を進めてきた。新型コロナウイルス発生に伴い計画通りに行うことが難しいものもあったが、記録の電子化による作業効率の向上と業務の簡素化が行われた。次年度は重点項目とされる人材確保と育成において継続的に取り組むとともに、今一度中長期計画の取り組みに関して、達成時期の見直しと今後の更なる取り組みの検討をすすめていく。

<地域部会>

新型コロナウイルス蔓延防止のため、地域との交流を控えたため、活動を自粛。

3) ケアサービス会議

月1回第3木曜日(16:30～)に実施した。各セクション間の日常の業務調整・連絡及び新規事案の検討を行った。今年度より、時間・曜日の変更をしたことにより、前年に比べ出席率が向上した。

4) 多床室リーダー会議

月1回火曜日(16:30～)実施した。入居者への良質なサービス提供とケアの統一を図るための検討。また、多床室3フロアにおける職員間の情報交換を行った。

5) ケース会議

月2回金曜日(16:30～)に実施した。新規入居者及び再入所者のケア内容の確認や居室の調整。また、入居者のADLの変化に伴うフロア調整や、フロア間の情報交換を細部にわたり検討し実施した。

6) ユニットリーダー会議

月1回実施はしていたが、職員の欠員により全リーダーが集まる開催は出来なかった。

また、勤務の状況により、部長・主任のみの開催となることも多かった。

Zoomを使用した開催も何度か行って行っただけでは見ただけで、継続出来ていない為今後も zoom を使用した開催や時間の調整等によりリーダーの出席率が上がる開催を検討し、実施したい。

7) ユニットケース会議

月1回実施してはいたが、勤務の関係でどちらかのフロアの職員のみ出席となる場合もあり、情報をまとめて報告したり、議事録上での報告になる場合もあった。次年度は両フロアの職員が必ず参加し、両フロア入居者の情報共有が出来る会議になるよう実施したい。

8) ケアカンファレンス

新規プラン策定・6ヶ月毎及び再入居時のプラン見直しの為、必要時開催した。入居者と家族の意向を確認し、個別性を考慮してQOL向上に努めた。今後も、入居者の思いを理解し尊厳保持を意識した支援が出来るよう心掛けていきたい。

9) 苦情解決委員会

園内メンバーによる会議を隔月1回実施し、新たに受理した苦情の内容の分析、改善策の協議、園内掲示文の検討を行った。また、12月に臨時会議を開催し、札幌市の定期指導監査での指摘事項に係る改善策の検討を行い、苦情解決処理規程の一部を改正する等の園内規程整備を行った。

令和2年度については、1月以降わが国でも発生した新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を最優先課題として取り組むため、ご家族の対面による面会の制限を行うなどを行った。この影響もあり、ご家族からの寄せられた苦情件数は年間合計5件（実件数）に留まったが、園内での感染防止に向けた対策の強化等に反映させている。

なお、第三者委員会については、総体的に苦情受理件数が少なかったこと、及び感染防止の一環として園内での会議開催を見送ることとし、第三者委員には資料により報告を行った。

〔苦情等の受理件数（令和2年度全期）〕

	施設部門		居宅部門			その他	合計	
	特養	短期入所	通所介護	居宅介護支援	介護予防センター			
実件数	2		1		1		4	
延 件 数	契約の締結・履行・解除							
	支援の内容		1				1	
	職員の言動							
	制度・政策・法律							
	個人の嗜好							
	そ の 他	財産管理						
		利用料等						
		事故・物損						
		施設の設備・管理	3					3
		他の利用者						
権利擁護					1	1		
その他								
合計	3		1		1		5	

10) 事故・身体拘束ゼロ推進委員会

センサー機器の活用や、ケア内容の検討・見直しにより、事故防止・拘束の無いケアの実現に努めた。

新型コロナウイルス蔓延防止のため、集合研修ではなく個々の動画学習等によって事故防止や不適切なケアについて学習する機会を持ち、職員への教育・意識共有を図った。

また、委員会内で提起された課題について、各専門職で情報共有し検討することにより、拘束しないケアに努めた。

今後も必要に応じて、ケアの内容・センサー等機器の活用を検討し、また研修等を通して全職員が事故・身体拘束について共通の意識を持ち、ケアの質の向上に努めたい。

「業務報告書」の事故別区分及び発生場所別区分

場 所 事故区分	トイレ	居室	廊下	ロビー	浴室	その他	合計	園内 処置	通院	入院
転倒	15	87	8	37	4	4	155	2	2	1
転落	2	26	1	3	1	2	35	1	1	0
外傷	1	7	0	4	6	0	18	3	2	1
誤薬	0	1	0	6	0	3	10	0	0	0
紛失	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
誤嚥	0	0	0	4	0	0	4	0	0	0
異食	0	2	1	1	0	0	4	0	0	0
外部徘徊	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

その他	3	16	3	11	9	7	49	2	1	0
合計	21	139	13	66	20	16	275	8	6	2

「業務報告書」の事故別各階別区分

「ヒヤリハット報告書」の事故別区分

	多床室			ユニット		計		多床室			ユニット		計
	2F	3F	4F	5F	6F			2F	3F	4F	5F	6F	
転倒	41	26	19	26	26	138	転倒	0	0	0	2	1	3
転落	7	2	15	11	6	41	転落	0	0	0	0	0	0
外傷	3	1	1	2	10	17	外傷	0	0	0	0	0	0
誤薬	3	1	7	3	4	18	誤薬	0	0	0	0	0	0
紛失	0	0	0	0	0	0	紛失	0	0	0	0	0	0
誤嚥	0	0	0	0	1	1	誤嚥	0	0	1	0	0	1
異食	1	1	2	1	0	5	異食	0	0	0	0	0	0
外部徘徊	0	0	0	0	0	0	施設内徘徊	0	0	0	0	1	1
その他	0	0	0	0	0	0	その他	0	0	0	0	0	0
合計	55	31	44	43	47	220	合計	0	0	1	2	2	5

「皮膚変色報告」の発見時別区分及び推測要因別区分

推測要因 発見時区分		排泄	入浴	移動	食事	水分補給	着衣	体交	医療	訪室	その他	合計
		打撲	2F	4	9	0	1	3	0	0	0	1
	3F	1	2	2	2	1	1	0	0	0	0	10
	4F	1	3	1	4	2	4	0	0	0	8	24
	5F	11	7	9	2	1	5	0	0	3	11	49
	6F	9	10	7	6	0	5	0	0	0	8	45
圧迫	2F	3	6	0	1	1	0	0	0	0	0	11
	3F	2	0	0	0	1	1	0	0	0	1	5
	4F	1	1	0	0	1	0	0	0	2	1	6
	5F	4	3	9	0	1	4	0	0	0	4	25
	6F	3	1	1	4	1	6	0	0	0	5	21
採血点滴	2F	0	0	0	1	0	0	1	5	0	7	14
	3F	0	0	0	0	0	0	0	23	0	3	26
	4F	1	0	0	0	0	2	0	12	0	2	17
	5F	0	0	0	0	0	0	0	2	6	0	8
	6F	2	0	0	0	1	0	0	0	0	16	19
その他	2F	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	3
	3F	1	1	0	0	1	1	0	0	0	0	4
	4F	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
	5F	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1	4
	6F	1	2	0	1	0	0	0	0	0	1	5
計	2F	8	15	0	4	0	0	1	5	1	9	48
	3F	4	3	2	2	3	3	0	23	0	4	45
	4F	3	4	1	4	6	6	0	12	2	12	48
	5F	16	11	18	2	9	9	0	2	9	16	86
	6F	15	13	9	11	11	11	0	0	0	30	90
	合計	46	46	30	23	29	29	1	42	12	71	317

① 前年度と比較し、事故総数はそれほど変わり無かったが、「外傷」を伴う事故が多かった。

② 昨年度同様「転倒」「転落」が上位を占めている。また、「転倒」「転落」した事例の場合、「外傷」を伴う事故が多く、入所者にとって、転倒がいかに危険を伴うかを再確認できた。

- ③ 「誤薬」では服薬時の声だし確認の徹底の呼びかけを継続しているが、完全になくすことはできなかった。また、朝・夕の飲ませ間違いも多数報告されている。幸い大事に至ることはなかったが、常に一人ひとりが気持ちを引き締めて関わっていくことが必要である。
- ④ 「破損」では、時計や補聴器を間違えて洗濯してしまったという事があったので、介護にあたる上での基本的なルールの徹底が改めて必要である。
- ⑤ 「皮膚変色報告書」も数多く挙がっており、原因不明な報告も多い。推測するのが難しい部分があるとは思いますが行動の観察等により、できる限り原因を追究し予防に努めていきたい。

11) 褥瘡予防委員会

入居者の褥瘡危険要因評価（OH スケール）について担当者が判定を行い、リスクの高い方（6点以上）、褥瘡の有る方は随時、再チェックし、再評価、対策を実施した。高リスク者が多く増加傾向であることからエアマットの購入を行った。また、エアマット使用開始時の書式が統一されていなかった為、改善し書式を統一した。

・感染症により外部講師を招いての研修を開催できなかった為、講師によるオンライン研修や動画学習を引き続き検討し褥瘡ケアについての知識や情報を職員間で共有していく。

12) 衛生委員会

<健康診断>

9月 153名（健康診断）86名（腰椎検査）

<ストレスチェック>

1月 144名

<その他>

労務災害5件、通勤災害4件、私傷病による休職10件が発生。私傷病休職では4件がメンタル不全によるもので、うち3名が退職に至っている。日頃のサポート体制や復職支援に向けた体制づくりが課題となった。

人材確保が厳しい中、職員が健康で働きやすい職場環境を作れるよう取り組んでいきたい。

13) 感染症予防委員会

<新型コロナウイルス感染症>

5月27日に職員1名の陽性が判明し、札幌市保健所と早期に連携を図り、情報共有に努めていたこともあり、陽性判明の翌日には札幌市による合同現地対策本部が設置された。終息を迎えるまでに、延べ108名（入所者62名、職員46名）のPCR検査を実施し全員の陰性を確認。また施設内のゾーニングや濃厚接触に該当するフロアを担当する職員との動線分離を行い感染拡大防止の徹底を図った。その後、園内の感染拡大はなく6月7日に終息することができた。

新形コロナウイルス感染症の対応については、対応方針等を随時検討し、面会制限や館内の消毒作業の徹底、園内行事の縮小、入居者等・来園者・職員の健康チェックを実施する等、予防の取り組みを実施した。

今後、長期化が予測されるため、感染予防の徹底とともに不測の事態に備えた対策の検討を継続していく。

<インフルエンザ予防接種（職員）>

11月 132名

<その他>

例年はインフルエンザに関連する職員の出勤制限が10名程度いるが、令和2年度は新型コロナウイルス感染症による社会全体の感染対策の意識向上の影響により、インフルエンザの感染報告は0件となった。

感染症に関する情報共有を速やかに行い、当園における予防及びまん延防止の強化を図っていきたい。

14) 広報委員会

<年間活動報告> 広報誌「はまなす」発行

第85号 令和2年 7月15日

第86号 令和2年 11月15日

第87号 令和3年 3月15日

<反省>

今後も入居者やご家族が欲しい情報を載せることを考え充実した誌面作りに努めていきたい。

他の施設や地域の方々との情報交換としてホームページでミニ広報誌の掲載をすることが出来たので、今後も取り組んでいく。

15) サービス向上委員会

委員会の出席率が引いたため、サービス向上委員会と業務マニュアル委員会が統合したが、参加できる職員は 2.3 名のみで変わらなかった。職員から接遇標語を募集することで、接遇に関心を持ってもらう機会となったので、次年度も実施していく。

16) 防災委員会

新型コロナウイルスの影響により、入居者の安全を最優先させたため防災設備の点検をやむを得ず延期したり、避難訓練については図上訓練やWEBを使用した訓練とした。

避難訓練は実際に避難誘導を行ったり、防災設備の操作をすることができなかつた等、物足りなさを感じた。施設にとって重要な訓練のひとつであるが、以前から参加者が限られるなどの課題もあったため、WEBを使用した訓練は、今後も全職員が参加できる有効な手段として活用していきたい。

17) 研修委員会

新型コロナウイルスの影響で外部研修は中止となるケースが多く、参加することについても自粛していたため全体的な件数は大幅に減少している。園内研修についても同様に感染症の蔓延を防止するため開催を自粛した。

<特養部門>

開催年月日	研修内容	参加者名	開催地
R2/6/13	新型コロナウイルス感染症研修会	中井 康人	札幌市
7/11	新型コロナウイルス感染症研修会	天田 孝	札幌市
7/20	令和2年度札幌市介護保険サービス事業所連絡協議会「第1回全体研修」	佐藤 雅浩 森本 一美	札幌市
9/2	令和2年度救命講習会	天田 孝	札幌市
9/10～11	令和2年度ユニットリーダー研修	大口 恵太	札幌市
10/16～17	2020年度 秋期職域別専門研修会並びに秋期全道栄養士研修大会	長岡 佑	札幌市
10/28	社会保険事務講習会	三原 真梨花	札幌市
R3/2/26	経験交流会～介護職場における雇用管理改善の取り組み事例の紹介～	天田 孝	札幌市

<在宅部門>

開催年月日	研修内容	参加者名	開催地
R2/6/11	令和2年度北海道介護支援専門員 更新研修	田村 一行	札幌市

【内部研修】

開催年月日	研修内容	参加職種	参加人数
R2/10/27	平均13%の収支改善に成功した202の介護事業所が取り入れているたった1つの習慣 あいおいニッセイ同和損害保険(株)オンライン研修	管理職	5名
11/6	「社会福祉法人連携推進法人制度」への事前準備とその取り組み方と「社会福祉法人の合併・吸収」対応戦略 あいおいニッセイ同和損害保険(株)オンライン研修	管理職	7名
11/11	令和2年度 北海道・東北ブロック社会福祉法人経営青年会オンラインセミナー 講義Ⅰ：コロナ過におけるICT等を活用した法人運営・ 講義Ⅱ：新型コロナウイルス感染症クラスター発生時の対応の実際について	管理職・主任	7名
11/13	2021年介護報酬改定の展望と人材教育経営戦略セミナー あいおいニッセイ同和損害保険(株)オンライン研修	管理職	8名
R3/2/18.22.25	講義Ⅰ：不適切ケア～自然にこんなことしていませんか(事故・身体拘束ゼロ推進委員会) 講義Ⅱ：新型コロナウイルス感染症(感染症対策委員会)	全職種	114名

3/5	事故防止活動とコンプライアンス（事故・身体拘束ゼロ推進委員会）	全職種	98名
3/10	リスクを正しくとらえる（事故・身体拘束ゼロ推進委員会）	全職種	105名
3/10	身体拘束について・虐待について（事故・身体拘束ゼロ推進委員会）	全職種	105名
3/14. 15	新卒採用職員研修	新卒採用者	3名
3/17	感染症対策のための実地での研修 恵佑会札幌病院 感染管理認定看護師 伊藤由佳様	管理職・主任他	13名

7. 実習生受け入れ状況

今年度は1校のみ介護実習の要請があり受け入れを行った。専門学校数、生徒数が減少している為今後も実習の要請自体が減少してくると思われる。

減少している中でも要請があった場合は状況をみながら受け入れをしていきたいと思う。

学校名	期間	実習生数	内容
せいとく介護福祉専門学校	9/7～10/9	2名	介護実習

8. ホール貸出状況

令和2年度も引き続き新型コロナウイルス感染予防のため貸出を全面的に中止した。

当園のホールのような広い施設は3密を避ける条件が整っており、地域住民の方のニーズは今後もあると思われるが、入居者等の感染予防を最優先としなければならないため、再開時期については慎重な判断が求められる。

しかしながら、地域貢献事業の一つとして定着した活動であったため、感染状況が落ち着き貸出ルールを新たに設定する等(人数制限等)して、安全が十分に確保できる環境が整えば再開したい。

9. 介護留学生奨学金制度

介護福祉士養成施設に在学する介護留学生を対象とする奨学金制度を令和元年度に創設し、当園の介護士として入職を希望している1名の留学生が対象になっている。

在学中は介護技術の向上や職場環境に慣れることを目的として、当園のアルバイトとして雇用し、介護福祉士養成施設と連携を図りながら就学支援とともに将来の介護人材育成に取り組んだ。

次年度は当園の介護士として入職を予定しており、新たな介護人材採用のツールとしての確立を目指す。

令和 2 年度

居宅事業報告

1. 介護予防センター

1. 利用方法別相談状況

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
相談件数	電話	2	4	2	4	9	5	6	3	7	3	3	6	54
	訪問	0	0	0	0	0	2	2	0	1	0	0	0	5
	面接	1	1	0	4	3	3	0	1	0	0	0	1	14
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	合計	3	5	2	8	12	10	8	4	8	3	3	7	73

2. 相談者状況

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
相談件数	本人	2	3	2	4	8	9	7	2	5	1	2	5	50
	家族・親戚	1	2	0	1	1	1	0	1	2	1	1	0	11
	知人・近隣	0	0	0	1	0	0	0	0	1	1	0	2	5
	介護支援専門員	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	介護保険サービス事業所	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	2
	民生委員	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
	福祉のまち推進委員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	町内会	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	医療機関	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	行政機関	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	地域包括支援センター	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	2
	その他	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
	合計	3	5	2	8	12	10	8	4	8	3	3	7	73

3. 月別及び相談内容別相談状況

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
相談内容	介護保険制度	0	2	0	1	4	2	2	1	4	0	0	2	18
	介護予防	2	1	1	3	4	2	2	2	0	0	0	3	20
	保健福祉サービス	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	権利擁護	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	消費者被害関連	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	認知症関連	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	2
	高齢者虐待	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	心身の健康	2	1	0	2	4	5	1	0	1	2	1	2	21
	住まい	0	2	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	4
	家族の疾病・障がいに関する事	0	0	0	1	0	0	0	0	2	0	0	0	3
	その他	1	1	1	1	2	5	4	1	2	1	0	2	21
	合計	5	7	2	8	16	15	9	4	9	3	2	9	89

〈総括〉

- ・相談内容や相談者の状況に応じて、行政や地域包括支援センター、関係機関や民生委員等との連携による支援を円滑に行った。
- ・新型コロナウイルスの影響により活動・地域支援が6月から11月までと短期間だった、地域支援も上手く行えず定期的に体調の確認や脳トレや体操などをすこやか倶楽部、自主グループ全参加者へ手紙を定期的に郵送し介護予防活動が行えるよう普及啓発していた。
- ・今年度は感染予防対策を講じながら短期介護予防教室を開催し、万人受けの自主グループが1か所立ち上がった。
- ・今年度予定していた歩こう会は中止となり、活動場が制限し活動が出来ないグループのモチベーション維持のために「体育館で体操しよう」を企画し3回実施した。
- ・地区地域ケア会議はマンションとの連携を目的とし書面会議にて開催することができた。
- ・対面での会議がなかなか行えずオンラインの会議や書面会議にて情報交換を行った。情報交換を行ったことで介護予防活動の働きかけができた。

4. 活動報告

月	会議等	地域活動支援・介護予防事業等
4月	7日 東区介護予防センター会議	
6月	16日 東区地域ケア推進会議 事務局会議	15日 地域活動支援 (さつき会…ダ イハレス北12条マンション1Fロビー) 17日 地域活動支援 (健康づくり教室…ダ イハレス北12条マンション1Fロビー)
	17日 北光地区連絡会議	19日 地域活動支援 (なごやかクラブ…ライオンズマンション北斗集会室) 24日 地域活動支援 (健康づくり教室…ダ イハレス北12条マンション1Fロビー)
7月	1日 東区介護予防センター会議	1日 地域活動支援 (健康づくり教室…ダ イハレス北12条マンション1Fロビー)
	20日 介護予防促進プロジェクト	2日 地域活動支援 (明和クラブ…美香保団地集会所)
	21日 北光地区連絡会議	7日 介護予防教室 (道住2号棟健康づくり教室…道営住宅光星団地2号棟)
	21日 東区連絡会議	10日 地域活動支援 (美香保クラブ…北光会館)
	27日 第1エリア会議	14日 介護予防教室 (道住2号棟健康づくり教室…道営住宅光星団地2号棟) 16日 すこやか倶楽部(介護予防教室…大友恵愛園) 17日 地域活動支援 (なごやかクラブ…ライオンズマンション北斗集会室) 21日 介護予防教室 (道住2号棟健康づくり教室…道営住宅光星団地2号棟) 22日 地域活動支援 (健康づくり教室…ダ イハレス北12条マンション1Fロビー) 28日 介護予防教室 (道住2号棟健康づくり教室…道営住宅光星団地2号棟) 地域活動支援 (自主グループ応援企画…美香保体育館) 30日 すこやか倶楽部(耳の講話…大友恵愛園)
8月	18日 東区連絡会議 東区地域ケア推進会議 事務局会議	4日 介護予防教室 (道住2号棟健康づくり教室…道営住宅光星団地2号棟) 5日 地域活動支援 (健康づくり教室…ダ イハレス北12条マンション1Fロビー) 6日 すこやか倶楽部(健康講話…大友恵愛園)
	19日 北光地区連絡会議	6日 地域活動支援 (明和クラブ…美香保団地集会所)
	21日 第1エリア介護予防会議	7日 地域活動支援 (美香保クラブ…北光会館) 11日 介護予防教室 (道住2号棟健康づくり教室…道営住宅光星団地2号棟) 18日 介護予防教室 (道住2号棟健康づくり教室…道営住宅光星団地2号棟) 20日 すこやか倶楽部(音楽体操…大友恵愛園) 21日 地域活動支援 (自主グループ応援企画…美香保体育館) 25日 介護予防教室 (道住2号棟健康づくり教室…道営住宅光星団地2号棟)
9月	2日 東区介護予防センター会議	1日 介護予防教室 (道住2号棟健康づくり教室…道営住宅光星団地2号棟)
	11日 北光地区連絡会議	2日 地域活動支援 (健康づくり教室…ダ イハレス北12条マンション1Fロビー)
	23日 東区連絡会議 区地域ケア推進会議 事務局会議	3日 地域活動支援 (明和クラブ…美香保団地集会所) 4日 地域活動支援 (美香保クラブ…北光会館) 8日 地域活動支援 (フレッシュタッピークラブ…北光会館) 介護予防教室 (道住2号棟健康づくり教室…道営住宅光星団地2号棟)
10月	7日 東区介護予防センター会議 郵便局局長会議	1日 地域活動支援 (明和クラブ…美香保団地集会所) 2日 地域活動支援 (美香保クラブ…北光会館)
	20日 東区連絡会議 東区地域ケア推進会議 事務局会議	5日 地域活動支援 (白樺ときめきサークル…北光白樺会館) 6日 地域活動支援 (タッピーハッピークラブ…北光会館) 7日 地域活動支援 (健康づくり教室…ダ イハレス北12条マンション1Fロビー)
	21日 男性介護者支援チーム会議	8日 すこやか倶楽部(笑話体操…大友恵愛園)
	26日 北光地区連絡会議	9日 地域活動支援 (美香保クラブ…北光会館)
	28日 第1エリア介護予防会議	16日 地域活動支援 (五條クラブ…北光会館) 20日 地域活動支援 (ここにこタッピー…道営住宅光星団地2号棟) 21日 地域活動支援 (健康づくり教室…ダ イハレス北12条マンション1Fロビー) 22日 すこやか倶楽部(体力測定…大友恵愛園)
11月	2日 東区介護予防センター会議	2日 地域活動支援 (白樺ときめきサークル…北光白樺会館) 5日 地域活動支援 (明和クラブ…美香保団地集会所) 6日 地域活動支援 (美香保クラブ…北光会館) 6日 地域活動支援 (五條クラブ…北光会館)
12月	2日 東区介護予防センター会議	

月	会議等	地域活動支援・介護予防事業等	
1月	6日 東区介護予防センター会議		
	19日 東区連絡会議		
	25日 2CO連携会議		
	29日 地区連絡会議		
2月	3日 東区介護予防センター会議		
	16日 東区連絡会議		
	19日 第9分区町内会地域懇談会		
3月	2日 地区地域ケア会議	12日 地域活動支援 (なごやかクラブ…ライオンスマンション北斗集会室)	
	3日 東区介護予防センター会議	18日 地域活動支援 (明和クラブ…美香保団地集会所)	
	4日 2CO連携会議	23日 地域活動支援 (タビ・ハッピークラブ…北光会館)	
	9日 地区連絡会議		
	10日	サロン代表者会議	
		福まちネットワーク会議	
	11日	サロンさつき打ち合わせ	
	12日	第1エリア介護予防会議	
	16日	東区連絡会議	
	22日	東区地域ケア推進会議	
	30日	早期相談PJ会議	

2. 居宅介護支援事業所

1. 要介護度別・月別ご利用者数（請求件数ベース）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
事業対象者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要支援1	1	1	1	1	1	2	2	2	2	2	3	3	21
要支援2	2	2	2	2	3	3	4	5	4	3	3	4	37
計	3	3	3	3	4	5	6	7	6	5	6	7	58
要介護1	28	26	26	26	27	25	27	27	29	30	31	31	333
要介護2	9	11	11	11	10	11	11	11	9	9	8	7	118
要介護3	2	5	6	5	4	3	3	3	3	2	0	0	36
要介護4	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	3	5	28
要介護5	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
計	42	44	45	44	43	41	43	43	43	43	42	43	516
合計	45	47	48	47	47	46	49	50	49	48	48	50	574

2. 男女別・年代別ご利用者数（令和3年3月分の請求件数ベース、年齢は令和3年3月31日現在）

	40歳～ 64歳	65歳～ 69歳	70歳～ 74歳	75歳～ 79歳	80歳～ 84歳	85歳～ 89歳	90歳～ 94歳	95歳以上	合計
男	0	1	0	3	6	4	4	0	18
女	0	0	2	2	6	10	8	4	32
合計	0	1	2	5	12	14	12	4	50

<総括>

○地域包括支援センターから介護予防支援及び介護予防ケアマネジメントを積極的に受託した結果、要支援1及び要支援2のご利用者数は、年度後半に入り増加傾向に転じた。

○要介護1～5のご利用者数は、新規契約による増加が毎月数件、コンスタントにあるものの、特養入所やご入院等の減少要因により、結果として40台前半を横ばいで推移。事業計画において設定した「平均利用人数58人/月」の目標値を大きく下回る結果となった。なお、要介護1・2のご利用者の割合が毎月9割近くに達しており、要介護3～5の中・重度者の割合が極端に低いことが当事業所の特徴的な傾向であり、かつ、収入の伸び悩みの一因になっている。

○要支援と要介護を合わせた全体のご利用者数は、40台後半でほぼ横ばいに推移。配置の人員（常勤換算2.0人）とご利用者数との間のアンバランスは前年度においてすでに見られたが、令和2年度においても解消することはできず、新規のご利用者獲得により収入を増やす一方で業務の合理化等により支出を削減して収支の改善を図ることがより一層求められる結果となった。

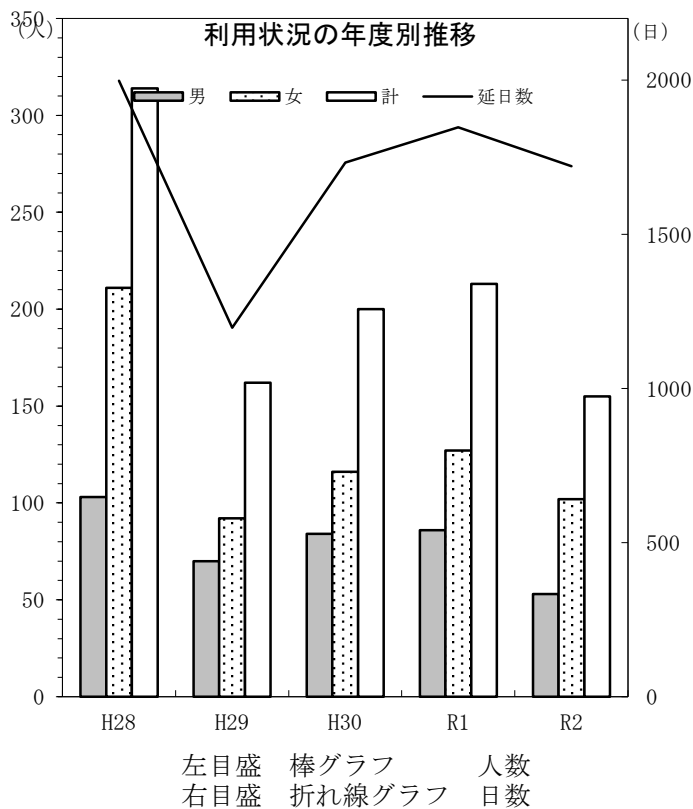
○男女別、年代別で見ると、最も若いご利用者は68歳（男性）で、最高齢は102歳（女性）。65歳未満の2号被保険者のご利用はない。年代別の割合は、80歳台が52%（26名）、90歳台が32%（16名）、70歳台が14%（7名）、60歳台が2%（1名）の順。75歳以上の後期高齢者が、全体の94%（47名）を占める。また、男女別では、男性36%（18名）に対し女性64%（32名）。

3. ショートステイ

1. 利用状況

	平成28年度				平成29年度				平成30年度				令和元年度				令和2年度			
	男	女	計	延日数	男	女	計	延日数	男	女	計	延日数	男	女	計	延日数	男	女	計	延日数
4月	8	19	27	169	10	12	22	157	6	5	11	91	8	10	18	164	5	9	14	127
5月	9	19	28	155	8	14	22	152	6	6	12	103	8	9	17	125	3	7	10	85
6月	6	16	22	123	6	5	11	91	6	13	19	148	5	13	18	137	3	10	13	129
7月	7	15	22	140	4	8	12	90	7	13	20	143	7	11	18	138	4	8	12	128
8月	9	22	31	211	6	6	12	77	6	9	15	132	6	14	20	172	4	6	10	111
9月	9	19	28	169	5	7	12	73	9	9	18	164	7	10	17	156	3	7	10	103
10月	10	17	27	190	5	5	10	70	9	11	20	134	8	10	18	154	5	7	12	143
11月	12	21	33	200	5	7	12	81	8	14	22	182	10	11	21	146	5	9	14	166
12月	8	17	25	155	6	8	14	114	6	8	14	138	8	9	17	159	6	9	15	155
1月	8	15	23	155	5	7	12	99	8	9	17	154	6	11	17	192	4	9	13	220
2月	6	14	20	139	5	6	11	98	7	8	15	139	6	10	16	125	5	10	15	156
3月	11	17	28	192	5	7	12	95	6	11	17	205	7	9	16	179	6	11	17	198
合計	103	211	314	1,998	70	92	162	1,197	84	116	200	1,733	86	127	213	1,847	53	102	155	1,721

※令和2年5月25日から6月7日まで新規利用者の受入れを休止とした。
(特養で新型コロナウイルスの感染があったため)



○1回当たり 平均利用日数

$$\frac{\text{延日数 (1721日)}}{\text{実質利用回数 (219回)}} \approx 7.86日$$

○1日当たり 平均利用者数

$$\frac{\text{延日数 (1721日)}}{365日} \approx 4.72人$$

○一人当たり 年間平均利用回数

$$\frac{\text{実質利用回数 (219回)}}{\text{実質利用者数 (37人)}} \approx 5.92回$$

2. 利用者要介護度別延人数

	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計	平均要介護
男	0	0	9	6	18	13	5	51	2.02
女	0	0	27	32	45	0	0	104	2.17
計	0	0	36	38	63	13	5	155	2.31
延べ 利用日数	0	0	503	411	612	156	39	1,721	

3. 理由別利用者数(実質利用回数)

理由	理由別	人数(人)		
		男	女	計
社会的	疾病・入院	22	34	56
	看護	0	0	0
	出張	0	0	0
	冠婚葬祭	0	0	0
	就労	0	0	0
私的	介護疲れ	37	119	156
	旅行	0	4	4
	外出	0	0	0
	引越・住宅改修	0	0	0
单身	单身生活困難	0	3	3
合計		59	160	219

4. 保険者別利用者数(実質利用者)

	男	女	計
東区	11	20	31
南区	0	1	1
北区	3	0	3
栗山町	0	1	1
鷹栖町	0	1	1
計	14	23	37

年度の初めより世界的な新型コロナウイルスの流行の影響を受け利用者数の大幅な減少がみられていた。また、当法人の職員が新型コロナウイルスの感染が判明したこともあり、一時的にショートステイ受け入れを制限せざるを得なかったことが実際の利用者数に現れている。しかし年度半ばから感染症対策および受け入れ態勢を整え、通常のショートステイのほか特養の入居待機を目的とした長期間の利用（ロングショートステイ）を積極的に受け入れたことが功を奏し利用者数の増加がみられている。

新規利用の問い合わせは前述のとおり一時的に落ち込んだものの、少なくない件数が各居宅支援事業所より寄せられている。他事業所が新型コロナウイルスの影響を受け休業や受け入れ停止を行うなか、いち早く感染症対策を施したうえでショートステイの受け入れを行っていたことが当園を選択していただく要因となったと思われる。コロナ禍の中にあっても、地域社会において当園のショートステイが果たす役割は大きいことを再度実感した。

次年度以降も新型コロナウイルスをはじめとした感染症対策に取り組みつつ、地域の介護ニーズに応えるべく事業を行っていきたい。

5. デイサービス

(1) 通所介護・総合事業 札幌市通所型サービス(であい)

1. 月別利用状況

(平均利用者数 21.0人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
登録者数	76	77	79	80	77	77	81	79	77	75	74	73	925	
実利用人数	59	60	60	64	60	60	63	63	60	58	56	57	720	
延利用者数	447	310	334	515	438	461	461	425	433	425	428	491	5,168	
開設日数	22	16	16	23	21	22	22	21	20	20	20	23	246	
入浴 機能 給食	393	274	312	474	410	432	423	387	399	390	396	458	4,748	
	298	202	240	394	227	170	266	214	282	276	263	358	3,190	
	364	257	273	418	352	368	369	338	345	337	341	395	4,157	
介護度別 利用者数	要介護1	31	30	29	31	28	27	29	29	29	30	28	347	
	要介護2	10	11	13	13	13	16	16	14	12	12	11	152	
	要介護3	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	2	
	要介護4	0	0	0	1	1	1	1	1	1	0	0	7	
	要介護5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	事業対象者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	要支援1	9	9	7	8	7	6	7	7	6	6	5	5	82
	要支援2	9	10	11	11	11	11	11	12	12	11	10	11	130
	新規	0	2	2	2	0	0	5	2	0	0	0	1	14
廃止	5	1	0	1	3	0	1	4	2	2	1	2	22	
体験	2	2	4	0	1	5	2	1	0	0	2	3	22	

2. 廃止理由

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
長期入院・療養	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	2
死亡	3	0	0	0	1	0	1	0	2	2	0	1	10
本人辞退	1	0	0	0	1	0	0	3	0	0	1	0	6
他事業所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
住居移動	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
施設入所	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	3
合計	5	1	0	1	3	0	1	4	2	2	1	2	22

3. 性別・年齢別利用者数

(令和2年3月31日現在)

	～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90～94歳	95～99歳	100歳～	合計
男	0	0	1	0	3	2	6	3	0	1	16
女	0	0	0	2	4	7	23	17	3	1	57
計	0	0	1	2	7	9	29	20	3	2	73

最大年齢	101歳11ヶ月	最小年齢	68歳5ヶ月	男性平均	85歳1ヶ月	女性平均	88歳2ヶ月	平均年齢	87歳5ヶ月
------	----------	------	--------	------	--------	------	--------	------	--------

行事実施状況

月	日	行 事 名	内 容	参 加 人 数	
				で あ い	総 合 事 業
4 ・ 5	4/27～5/1	お 花 見	外出行事自粛のため、レクリエーション終了後の時間に、各地の桜動画を鑑賞する。日本各地の桜の名所を見て、お花見気分を味わっていただく。	81	21
9	14～18	敬 老 会 (出 前 寿 司)	敬老祝いの行事食として、園食では提供することが難しい出前寿司を取り、普段とは違った食事を楽しんで頂いた。	41	17
12	21～25	ク リ ス マ ス 会	クリスマスケーキやコーヒーを召し上がりながら、クリスマスの楽しいひとときを過ごされていた。	85	24

<デイサービスであい 総括>

- ・特養で新型コロナウイルスの感染があったため、令和2年5月25日から6月8日まで休止とした。
- ・新型コロナウイルス感染対策として、例年行っていた外出行事をすべて中止とした。

お花見：お花見気分を味わえるように、道内や日本各地の桜の名所動画を鑑賞した。以前に行った事がある場所や普段は見ることの出来ない夜桜などの映像で楽しまれた。

- ・敬老のお祝いとして、昨年と同じく昼食時に出前の寿司を注文し召し上がって頂き、概ね好評であった。
- ・クリスマス会は、クリスマスケーキで雰囲気味わいながら、ビンゴゲームも行い楽しまれている。
- ・通常のレクリエーションについても密を避ける座席配置や手指消毒等を行いながら感染防止に配慮した。

(2) 認知症対応型通所介護(つどい)

1. 月別利用状況

(平均利用者数 5.7人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
登録者数	17	17	15	15	15	14	15	17	17	17	18	19	196
実利用人数	11	15	14	14	13	11	13	13	12	14	13	13	156
延利用者数	136	102	96	146	116	107	109	116	113	108	117	130	1,396
開設日数	22	16	16	23	21	22	22	21	20	20	20	23	246
サービス別利用者数	入浴	132	99	94	146	116	107	107	113	112	106	111	1,366
	機能	114	86	94	146	116	107	109	116	111	108	114	1,351
	給食	136	102	96	146	116	107	109	116	113	108	117	1,396
介護度別利用者数	要介護1	5	4	4	4	5	4	4	4	5	6	7	59
	要介護2	3	4	2	2	1	2	2	1	2	2	1	22
	要介護3	2	5	6	6	5	3	5	6	3	4	3	51
	要介護4	1	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	24
	要介護5												0
新規					1		2	2	2	1	2	1	11
廃止			2		1	1	1		2	1	1		9
体験	1	1		2			1	1	1	1	2	1	11

2. 廃止理由

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
長期入院・療養									1				1
死亡											1		1
本人辞退						1	1			1			3
他事業所			2										2
住居移動													0
施設入所					1				1				2
合計	0	0	2	0	1	1	1	0	2	1	1	0	9

3. 性別・年齢別利用者数

(令和2年3月31日現在)

	～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90～94歳	95～99歳	100歳～	合計
男		1	1			2			1		5
女					1	5	4	1	2	1	14
計	0	1	1	0	1	7	4	1	3	1	19

最大年齢	100歳1ヶ月	最小年齢	61歳	男性平均	78歳7ヶ月	女性平均	87歳3ヶ月	平均年齢	85歳
------	---------	------	-----	------	--------	------	--------	------	-----

行事実施状況

月	日	行事名	内容	参加人数
9	14～18	敬老会 (出前寿司)	敬老祝いの行事食として、園食では提供することが難しい出前寿司を取り、普段とは違った食事を楽しんで頂いた。	11
12	21～25	クリスマス会	クリスマスケーキやコーヒーを召し上がりながら、クリスマスの楽しいひとときを過ごされていた。	12

<デイサービスつどい 総括>

- ・特養で新型コロナウイルスの感染があったため、令和2年5月25日から6月8日まで休止とした。
- ・新型コロナウイルス感染対策として、例年行っていた外出行事をすべて中止とした。
- ・例年行っていた、お花見や公園散歩の代わりに、園の庭で桜を見たり外気浴を行うなどを行った。